

2016. 1. 16(土)実施
 2016. 1. 18(月)初稿
 2016. 3. 23(水)
 富田健太郎

地理B

第1問 (配点17点: 2点、他3点) 【世界の自然環境と自然災害】

問1 ① 【やや難】

各問題の範囲のどのあたりに地震が発生するか、またその深度はどうかを判定する必要がある。①②の判断がやや難しい。

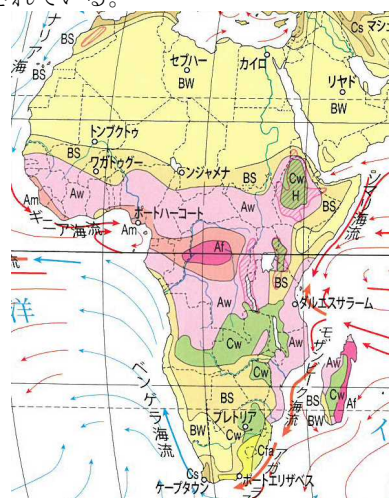
- D ④←オーストラリアは安定陸塊 地震少
- C ③←ハワイ島はホットスポット、火山
- B ②←サンアンドレアス断層にそって北西から南西に地震。すべて浅い地震
→断層型地震
- A ①←スマトラ島に沿って地震多発。北東に深い地震。→海溝型地震
海溝型地震はプレートが潜っていくため、海溝から離れるにつれ深い場所
で(プレートが破壊されるため)地震が起こる。

問2 ③ 火山灰土壌はシラス台地のシラス台地のやせており、農業には不適。火山灰は風でとび、雨が降るとぬかるみがひどい。また、無機質で作物も育ちにくい。

- ① 火山の恩恵の一つ。温泉や景観。
- ② アイスランドが有名
- ③ 地下水が豊富で、天然水などで売り出されている。

問3 ② 【良問】 気候を考える

- ① E←植生がない
- ④ F←熱帯雨林
- ③ G←サバナ気候
- ② H←西に植生があり(高山気候)、東は砂漠



問4 ⑤ 【易】

- J アルプス→氷河湖 チューリッヒ湖・オーバー湖
- K 火山→カルデラ湖 洞爺湖
- L 残り 写真は山岳→地滑り・堰止め湖 ワイカリモアナ湖

問5 ① 【標準】 赤道低圧帯の位置をみる定番問題

赤道低圧帯は貿易風の収束帯

- W 赤道低圧帯がオリノコ川河口付近→7月
- X // アマゾン川河口付近→1月
- 200mm以上の地域がベネズエラ付近→7月
- // ブラジル高原 →1月

- 問6 ① 【やや難】いろいろ考えると難しい？ 注意書きをよく読もう。
- ③ 1人あたりの水資源・国外水資源が多い→バングラデシュ
ガンジス川の河口で多雨地域
 - ②④ 国外水資源が少ない→中国・チリ
中国は国土が広く、国外からの河川がほとんどない
チリ→河川が少なく、水資源の多くは降水
 - ②中国 人口多い→1人あたり水資源が少なくなる
 - ④チリ 人口少ない(1700万人)→1人あたり水資源が多くなる
 - ① 1人あたりの水資源が少ない→乾燥帯のエジプト
ナイル川(外来河川)があるので、国外水資源は多い

■ 自然環境を様々な統計を使って問う問題が多くなっている。単純な知識だけでなく、統計と結びつけた学習が必要かと思う。は①②の判断が難しかったといえる。震源の深さという指標をどう考えるかがポイント。は気圧帯の問いはよくできるが、苦手な生徒は多いだろう。は中国は人口が多いため、1人あたりの数値は概して小さくなるため、①を中国と判断してしまう可能性があるが、国外の水資源の意味を考えられるかがポイントだろう。

第2問 (配点17点： 2点、他3点) 【世界の工業】

- 問1 ③ 【易】 自動車工業ではなく航空機工業 トールーズ
- ① ピッツバーグ・エッセン(ルール工業地帯)・カトヴィツェ(シロンスク炭田)
 - ② ヒューストン(メキシコ湾岸油田)・ミドルスブラ(北海油田)
 - ④ シリコンバレー(スタンフォード大学)・ボストン(ボストン大学、他近隣にMIT)・ロンドン・パリ
- 問2 ④ 【易】 ビールなどの飲料工場は消費地立地
- ① 流行は都市から
 - ② アルミニウムは代表的な電力立地
 - ③ 労働集約的産業は途上国に多い
- 問3 ⑥ 【易】
- カ 産業用ロボット←日本・ドイツが多い
 - キ 中国最大 ←CO2排出量
 - ク アメリカ最大 ←特許
- 問4 ②
- ①②1人あたり工業付加価値額多い→スイス・韓国
 - ① スイス ←付加価値が多い 医薬・製薬・精密機械など 人口800万人
 - ② 韓国 ← 少ない 機械・自動車など 5000万人
 - ③④1人あたり工業付加価値額少ない→中国・メキシコ
 - ③メキシコ
 - ④中国 ←GDPに占める鉱工業の割合 世界の工場
- 問5 ④ 【基本】アメリカ・日本・中国などの貿易関係の定番問題
- 日本 アメリカには貿易黒字・中国には貿易赤字
資源国には貿易赤字
 - P アメリカは貿易赤字国
 - Q 中国は貿易黒字国 PとRへの輸出額が大きい
 - R ASEAN

問6 12 ④ 【易】オタク文化・アニメ文化は世界へ発信 ちょっとあからさま。

- ① 資源を輸出するだけでコンビナートはない
- ② ベンチャー企業は先進国とくに都市に多い
- ③ 逆。輸入代替から輸出指向へ転換。

■全問を通して基本問題や基本的な考え方ができるなら、難しい問題はなかった。10でスイスと韓国の判定に迷うくらいだろう。12は常識問題。

第3問 (配点17点: 14 2点、他3点) 【都市と村落・生活文化】

問1 13 ② 【基本】

- ①②都市人口率が高い→先進国・南米・乾燥帯
南米は植民政策で都市に入植。そのため、古くから都市人口率が高い
乾燥帯は環境が厳しいので都市にしか住まない
- ① イギリス←1人あたりGDP高い
- ② アルゼンチン←1人あたりGDP低い
- ③④都市人口率が低く、近年上昇→途上国
- ③ マレーシア←1人あたりGDP高い。ASEANの工業国
- ④ ナイジェリア←1人あたりGDP低い。アフリカの産油国。途上国

問2 14 ① 【易】常識問題

- ① ターチン油田 中国最大の油田
- ② ニースは地中海沿岸の保養地 スキーリゾートなわけではない
- ③ パナマは南米。パナマ運河。地中海-紅海はエジプトのスエズ運河
- ④ モントリオールは首都ではない。カナダの首都はオタワ。

問3 15 ② 人口40万人程度の都市とは愛知県一宮市のこと

- ア 人口密度←駅周辺が高い
- イ 老年人口率←駅周辺の他、周辺にも高いところがある
高齢者は旧市街地や農村部に多い
- ウ 農業・林業就業者←周辺部に多い

問4 16 ④ 【易】

- ① 写真から直線上の道路がわかる
- ② 屋敷森はフェーン・北西季節風の防風林の役割
- ③ 広大な耕地に家屋を作ることで散村となる
- ④ 経営規模が大きいため誤り

問5 17 ② 【易】日干し煉瓦の家は外気を遮断するため間口は狭く、窓も小さい

- ① イヌイットのイグルー
- ③ 朝鮮半島のオンドル
- ④ 高床式にすることで湿気を防ぎ、害獣などから身を守る

問6 18 ③ 【基本】教科書に必ず載る南アジアの宗教人口割合

- ① イスラム教→パキスタン ←イスラム教で97%
- ② イスラム教→バングラデシュ
- ③ スリランカ ←仏教が70%
- ④ ネパール ←ヒンドゥー教と仏教(チベット仏教)

■都市・村落の代表的な問題がでている。13は問題演習をしていれば容易に答えられる。14は地図と丁寧に照らし合わせて考える。他の問題は常識も含めて易しい問題であった。14は都市についての知識がない生徒は難しいかと思う。毎年、具体的な都市はでるので、地図帳などで都市名を覚えるようにしよう。

第4問 (配点17点: 2点、他3点) 【ヨーロッパの地誌】

問1 ③ 【基本】

- ① C ポー川流域のパダノヴェネタ平野では稲作もある
- ② B パリ盆地のケスタ。
- ③ D 石灰岩のカルスト地形のもとになったカルスト地方
- ④ A イギリスは土地利用のうち牧場・牧草の割合は45%と高い

問2 ② 都市についての知識問題は受験生は苦手?

- ② ドュッセルドルフ←J 外国企業の拠点・中枢管理機能
- ① ウィーン ←L 「音楽の都」
- ③ ストラスブール ←K 独仏の国境の都市。EU議会。
- ④ ベオグラード ←M 首都。1990年代のユーゴ解体・コソボ紛争など

問3 ⑤ 【やや難】2つの指標は昨年も出題

- 農業人口1人あたり農業生産額＝労働生産性
- 農地1haあたり農業生産額＝土地生産性
- ア 土地生産性←オランダ・デンマークが高い
- ウ 労働生産性←フランス・ドイツなどが高く、東欧が低い
- イ 輸出入比率←フランス・スペイン・ポーランドなどが高い

問4 ① 【やや難】フランス・ドイツなどは移民の流入が多いが、移民の失業率などが問題となっている。旧植民地からの移民の流入が多い。③④は移民が少ない。

- カ◆ ギリシャ←失業率が高い ギリシャ問題 普通はこれが答えになるのに…
- ク○ スイス・ノルウェー←失業率が最も低い
- キ▲ フランス←自国の失業率は低めだが、移民は高い
仕事を求めて移民の流入がある
- ケ■ ハンガリー・ポーランド←自国も移民も同じくらいに失業率が悪い。フランスなどと比べると、仕事を求める移民は少ない。

問5 ③ 【基本】

- サ ドイツ ←東西ドイツの統一
- シ イタリア←北部と南部の経済格差 北部は重工業の三角地帯
- ス ベルギー←北部フランドル地方の羊毛、南部のリエージュ・ナミュールの鉄鋼業

問6 ② 【基本】ヨーロッパ域外からの直接投資は減少していない

- ① 人・モノ・カネの移動の自由が実施
- ③ グリーンツーリズム

■ 20 は都市の知識を問われているので、難しく考える生徒がいるが、地図の場所をみればわかりやすいだろう。 は判断がやや難しい統計であった。

第5問 (配点14点: 2点、他3点) 【インドと南アフリカ共和国の地誌】

問1 ③ Gの判断が出来ないが、消去法で解ける

- ③ Cは代表的な綿花地帯、Gも綿花栽培地域
- ① A・Eとも乾燥帯ではあるが、カカオは熱帯のプランテーション作物
- ② Bは夏の南西季節風による地形性降雨で夏に多雨 ブドウはない
FはCsのため、夏乾燥・冬湿潤
- ④ Dはガンジス川河口のデルタ地帯で米・ジュート栽培
HはCfa ライ麦は冷涼地域で栽培されるため、誤り

問2 26 ② 【基本】

- ④ ロシア ←1人あたりGDP高い、天然ガス・原油などの資源輸出
- ③ ブラジル←1人あたりGDP中 鉄鉱石・大豆・肉類の輸出
- ① 中国 ←1人あたりGDP中 世界の工場
- ② インド ←1人あたりGDP低い

問3 27 ①

- ア 南アフリカ共和国で錫は少ない
クロムはレアメタル 特殊合金
錫は青銅、はんだなどの合金、ブリキは錫メッキ
- イ インドの貿易ではダイヤモンドは輸入の4位、輸出の2位となっている
ダイヤモンドの加工貿易

問4 28 ② 【基本】 イギリス連邦はイギリスの旧植民地で構成 データブックには南アフリカ共和国は1961年に脱退とあるが、1994年に再加盟

- ① アメリカや中国が最大の貿易相手国
- ③ 南アフリカでは英語は公用語。インドでは準公用語。
- ④ インドは戦後に独立している

問5 29 ④ 郊外から都心へオフィスが移転することはない

- ① カースト制の特徴
- ② プッシュ型の人口移動
- ③ アパルトヘイトの特徴

■今年は地球的課題がなくなり、2つの国の比較問題となった。地誌分野が増えた新課程を意識したのだろうか。内容は標準的。イギリス連邦がややこしい。

第6問 (配点18点：他3点) 【岩手県北上市の地域調査】

問1 30 ① 【易】鳥瞰図の問題。西の高い山脈、盆地、東の高原に着目。

- ①エ
- ②ア
- ③イ
- ④ウ

問2 31 ③ 【易】地図を注意深く読めばできる

- | | | | | |
|----|-----------------------|----|-----|-----|
| 北西 | 南部藩 | 南東 | 伊達藩 | |
| カ | 灌漑用水→整然とした水田のある北西部のこと | | | 南部藩 |
| キ | ため池 →ため池がある南東部のこと | | | 伊達藩 |
| ク | 方形の耕地に植樹がある南東部のこと | | | 伊達藩 |
| ケ | ” がない北西部のこと | | | 南部藩 |

問3 32 ① 【やや難】判別の根拠が低い

- ス 道路沿いにアーケード→中央商店街と思われる中心部 C
- シ 大型のロードサイド店→主要道路沿い A・Bも道路沿い
Bは陸羽街道なのでこちらが有力
Aは特になし。だが、最近は国道でなくてもロードサイド店はできるので、明確な根拠とはいえない
- サ 耕地?の中にある新興住宅地

問4 33 ④

タ 窯業 1960年代にはまだ東北地方の内陸部は工業化が進んでいない
 チ 電気機械 1985年ごろには機械類の生産が増加 シリコンロード
 ツ 輸送用機械 2010年ごろにはトヨタなどの工場が東北にできている

問5 34 ④

マ 通勤・通学←盛岡駅・北上駅周辺が高い
 ミ 事業所 ←盛岡市・北上市を含め周辺市町村が高い
 ム 自動車保有←西部の山岳地域ほど高い

問6 35 ④

- 【易】
- ① 絶対数を表すので図形表現図が適当
 - ② 割合を表すので階級区分図が適当
 - ③ 店舗数を位置を示しながら表すのでドットマップは適当
 - ④ 絶対値を流線図のような移動を表す表現方法は不適当

■ 地域調査の問いとしては標準的な問題。落ち着いて問題を解けば満点である。

●出題形式

		07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
	単答式	0	1	3	1	0	1			1	
	図中選択	0	1	3	0	3					
	地図中選択						1				
	図(除グラフ)写真選択							3	1	2	5
	文選	14	14	13	11	8	12	8	11	16	12
	文章中の正誤判別	0	0	2	5	0	3	2	1		1
	正誤の組合せ						1	1	1		1
	組合せ	4	6	5	5	8	7	5	6	3	7
	文中適語補充組合せ										2
	組合せ 統計	14	5	7	7	10	3	5	7	3	3
	統計地図							2	1	1	2
	単答式 統計	3	6	1	7	5	5	8	4	7	6
	統計地図						1			1	1
	雨温図・組合せ	1	0	0	0	0					
	単答式	0	1	0	0	0					
	ハイサー・組合せ	0	0	0	0	0					
	単答式	0	0	1	0	1	1				
	気候表・組合せ	0	0	0	0	0					
	単答式	0	0	0	0	0					
	写真問題	0	0	2	3	3	4	1	2	3	3
	地形図の枚数	4	3	2	3	7	2	4	2	3	2
	読図関連	4	2	3	3	2			1	3	2
	図表読み取り	0	2	4	5	0			1	3	
	計算	0	0	0	0	0					
	年代並びかえ									1	

- 大問6題で変わらず。地球的課題がなくなり、地誌が2大問となった。小問数は35問と1つ減少。
- 例年通り、地理Aとの共通問題は第6問地域調査であった。
- 判断に迷う問題があり、高得点は狙いにくい。易問もあり、平均点は昨年よりは若干高くなった。考えれば考えるほど難しくなる問題があり、力のある生徒でも苦労しただろう。
- 雨温図・ハイサーグラフは出なかった。
- 特定の都市を取り上げる問題が近年続いたが、今年は見られなかった。

■地理B 平均点の推移

									16年	15年	14年	13年	12年	11年	10年
									61.10	58.6	69.7	61.9	62.2	66.4	65.11
09年	08年	07年	06年	05年	04年	03年	02年	01年	00年	99年	98年	97年	96年	95年	
64.45	66.36	58.41	65.1	70.2	62.1	55.0	66.3	63.6	58.2	62.3	77.2	67.3	62.8	72.4	

地理A 第5問は地理B第6問と共通

第1問 (配点22点: 各2点、他3点) 【地理の基礎的事項】

- 問1 ① 【基本】低緯度ほど日照時間長い。
 ② 30の緯度差なので2時間の時差
 ③ A B間は30°なので、4万km×(30/360)=3,333km
 ④ 大圏航路ではなく、等角航路
- 問2 ② 【基本】2000m以上は新期造山帯、500～は安定陸塊などの楯状地、～200mは平野と考える
 ① ウ: バングラデシュ←200m未満がほとんど
 ④ イ: エチオピア ←全体的に標高が高く高原で、2000m以上の地域が多い
 ③ ア: イタリア ←200m未満があり、②と比べ2000m以上(アルプス)がある
 ② エ: ブラジル ←高原(ブラジル高原)が多いが、2000m以上の高山がない
- 問3 ③ 【やや難】緯度が高いほど年較差は大きくなる。また内陸は大きく、沿岸は小さい。
 沿岸地域を含むかどうかとも判断のポイント
 ④ F←年較差が少ない=赤道付近
 ② E←ずっと一定の年較差=ほとんど気候が変わらない。海洋部分なし。
 ① H←年較差が最も大きく25℃ほど 高緯度地域
 ③ G←東西が年較差がやや小さくなる=東西に同じような気候・条件=沿岸で温帯
- 問4 ① 【基本】
 カ J←なつめやし=オアシス農業
 キ K←ヤク=モンゴル～アルタイ山脈
 ク L←地下水を利用した農業、長いアーム=センターピボット
- 問5 ① 【基本】イモが多い①をアフリカと間違えないように
 ③アジア ←米の割合が高い 稲作
 ②北米 ←小麦・トウモロコシが高い 大規模農業
 ④アフリカ←全体的に少ない 生産性が低い
 ①欧州 ←小麦・イモが多い イモはジャガイモ

問6 6 ① 【基本】

- ② スペイン語 ← 言語人口が多い
- ④ 英語 ← 公用語の国が多い
- ① ロシア語 ← 公用語の国が少ないが、言語人口が多い
- ③ フランス語 ← 公用語の国がやや多いが、言語人口が少ない

①世界のおもな言語人口

		2014	百万人
中国	語	1197	
スペイン	語	414	
インドネシア	語	335	
アラビア	語	260	
ポルトガル	語	237	
ベンガル	語	203	
ロシア	語	193	
日本語	語	167	
インドネシア	語	122	
フランス	語	84	
ドイツ	語	83	
韓国・朝鮮	語	78	
フランス	語	77	
マレー	語	75	
タイ	語	74	
フィリピン	語	72	
トルコ	語	71	
ミャンマー	語	69	
ベトナム	語	68	
ウイグル	語	64	
イタリア	語	64	
ペルシャ	語	60	
マレー	語	57	

※ 第一言語による区分

問7 7 ③ 【易】 観光地図は観光地がわかれば良いので、イラスト風でもかまわない。

- ① 分数の大小の問題。1/25000 > 1/50000なので、縮尺は1/25000の方が大きい
- ② 海図は等角航路が書ける正角図法で描く
- ④ 土地利用図は主題図。一般図は地形図のように汎用性のある地図

問8 8 ③ 地形の3Dデータの提供も始まっているので、このような問題がでたのか？

- タ Y ← 中央から右上へ谷がある。左上がとくに標高が高い
- チ X ← 左下の低地
- ツ Z ← 左右の山に囲まれた細長い盆地

■ 基本問題がほとんどではあるが、3の年較差の問題や5の1人あたり作物生産量、6の公用語人口はやや難しく、例年より難易度は上がっているだろう。

第2問 (配点15点：各3点) 【日本の自然環境と防災】

問1 9 ③ 【易】

- ア 日本海溝 太平洋P × 北米P 東日本大震災(2011) 死19225
- エ 南海トラフ フィリピン海P × ユーラシアP 南海地震(1946) 死1330
- ウ 野島断層 阪神・淡路大震災(1995) 死6434
- イ 福井平野東縁断層帯 福井地震(1948) 死3769

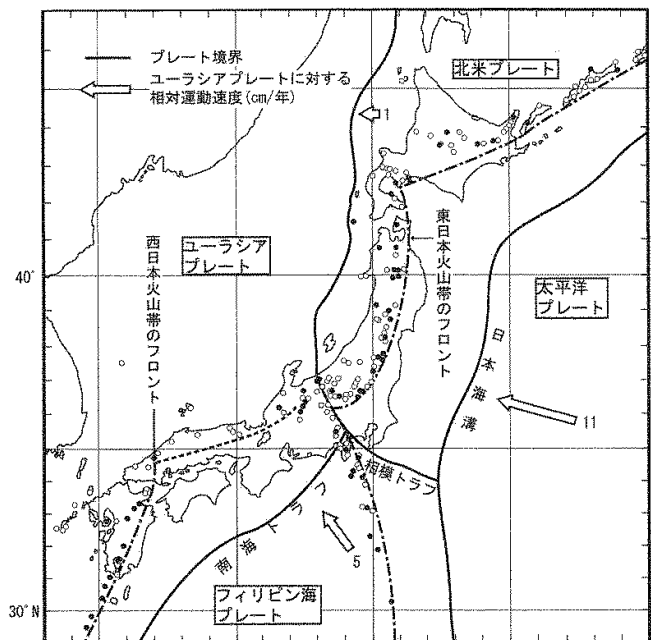


図9-7 日本の火山分布、火山前線、プレート境界、杉村(1978)による

- 問2 10 ② 【やや難】①②の判別が困難？
- ③ 積雪日←日本海側に多い
 - ④ 強風日←日本海側(北西季節風)や北海道などに多い
北海道は真夏日・多降水日はない
和歌山などにも●があるので、積雪日でない
 - ① 多降水日←南に多く、一部日本海側や東北にある
 - ② 真夏日←南に集中し、北にはない。関東内陸をみる。日本一暑い熊谷など。
- 問3 11 ③ 【易】
- A 輪中は濃尾平野に多く、洪水対策の堤防で囲われた集落なので誤り
 - B 砂防ダムは土石流対策として設置されるので正しい
- 問4 12 ⑤ 【良問】
- ク 旧河道←現河道につながり、液状化現象が発生している。地盤が弱く、水分を含んでいると考えられる
 - カ 自然堤防←旧河道沿いに分布している
 - キ 台地 ←河道からはなれ、液状化現象も発生していない
- 問5 13 ③ 青苗地区は津波の被害を受け、建物などが流された。針葉樹林は見られない
- ① 青苗港の北側の海岸線に新たに道路兼堤防が建設された
 - ② 市街地は密集地であったが、道路を拡幅し、密集も改善されている
 - ④ 2009年に山の手という地名があり、35m以上の地域に新たに団地や住宅らしきものができている。

■10の問題はやや判断に時間がかかる。近年の夏は真夏日が多く、各地で最高気温を更新していることを考えると、北日本にも真夏日が多い印がつくのではないかと考えてしまう。12は地形図の読図によくあるが、液状化現象との関連を読ませる点で地理的な思考力を問う問題ではないか。

第3問 (配点21点：各3点) 【世界の生活・文化】

- 問1 14 ② 【基本】アマゾン河口では茶の栽培はない。Cw地域が多い。
- ① 乾燥パンパでは羊の飼育が多い
 - ③ バレンシア地方。Csでは果実の栽培が盛ん。
 - ④ チェルノーゼム(黒土)は小麦の企業的穀物農業が行われている
- 問2 15 ⑤ イ・ウの判別に苦労した生徒がいるかもしれない
- ア H←高床式になっている 永久凍土の融解対策
 - イ F←サバナらしい草原と灌木
 - ウ G←カッパドキアの洞窟住居？
- 問3 16 ④ 写真は「嘆きの壁」。壁に向かって祈りを捧げている。エルサレムにあるユダヤ教の聖地である。
- ① ヴァラナシはガンジス川沿いにあるヒンドゥー教の聖地。ガンジス川で沐浴をする写真が有名。
 - ② 写真から仏教徒ではないことはわかる
 - ③ イスラムの礼拝の写真ではないことはわかる
- 問4 17 ① チャオプラヤ川の河口は三角州。天然ゴムはカリマントラン島やスマトラ島、マレー半島の熱帯雨林地域で栽培。
- ② 南シナ海では中国が進出し、フィリピンやベトナムなどと摩擦がある
 - ③ マラッカ海峡。タンカーが多く通過し、座礁の危険性もある。海峡での渋滞も発生するくらい重要な輸送ルート。
 - ④ アルプス・ヒマラヤ造山帯はニューギニア島で環太平洋造山帯と出会う

問5 18 ③

- カ Y スマトラ島 ←アブラヤシの生産=インドネシア・マレーシア、北の民族独立=アチェ
- キ X ミンダナオ島←バナナ、ムスリム=モロ族
- ク Z バリ島 ←ヒンドゥー教

問6 19 ①

- ① シンガポールはマレーシアから独立し、特定民族の優遇をしていない
- ② タイへは日本の小売業は百貨店、コンビニ、ショッピングセンターなどが進出しているが、それによって水上マーケットが衰退はしていない
- ③ ベトナムは仏教国。カトリックはフィリピンである。
- ④ マレーシアの鉱山や農園労働者は中国やインドからの移民である。それぞれ、華僑、印僑となる。

問7 20 ③

- サ 1人あたりGDP ←マレーシアが高い
- シ 製造業の割合 ←マレーシア・タイなどが高い
- ス 農業従事者 ←ミャンマー・カンボジア・ラオスなどが高い

■生活文化ではあるが、後半は農業・工業など産業を中心とした東南アジアの地誌問題であったと思う。
嘆きの壁やカッパドキアなどは写真を見ていないと戸惑う可能性がある。

第4問 (配点24点：各3点) 【地球的課題と世界の結びつき】

問1 21 ①

- 【基本】途上国は薪炭材が多くなる
- イ アフリカ←薪炭材が多い
- ア アジア ←薪炭材が多いが、用材もある
- ウ 北米 ←用材が中心

問2 22 ①

- 【易】グレートバリアリーフのあたりは熱帯低気圧は発生する
- ② ギリシャはC sなので集中豪雨は考えにくい
- ③ 氷河の融解は温暖化の影響である
- ④ エルニーニョでは海面上昇は起こらない

問3 23 ④

- 【易】
- ① 下の表を参照。危険な仕事には鉱山労働も含む。
- ④ 明らかな間違い。フェアトレードが推進されている。

Table 2. Children in employment, child labour and hazardous work by region, 5-17 years age group, 2012

Region ^(a)	Children in employment		Child labour		Hazardous work	
	('000)	%	('000)	%	('000)	%
Asia and the Pacific	129,358	15.5	77,723	9.3	33,860	4.1
Latin America and the Caribbean	17,843	12.5	12,505	8.8	9,638	6.8
Sub Saharan Africa	83,570	30.3	59,031	21.4	28,767	10.4
Middle East and North Africa	13,307	12.1	9,244	8.4	5,224	4.7

Note: (a) The regional totals sum to less than the world totals because the latter include countries that are outside of the four main regions reported here.

ILO報告書 “Marking progress against child labour”

問4 ② 【基本】

- ① アフリカ ←農村・都市ともに衛生的なトイレが少ない
- ④ オセアニア←都市でほぼ100%衛生的なトイレで変化が少ない
- ③ 南米 ←衛生的なトイレが普及している。もともとが高い。
- ② 南アジア ←衛生的なトイレが普及している。もともとが低い。

問5 ① 【やや難】 スイスが金融が発達していることを知らないと判別できない

- ① スイス←金融サービスで貿易黒字
- ② シンガポール←金融・輸送で黒字 アジアの金融センター、中継貿易
- ③ オランダ ←輸送で黒字 ユーロポート
- ④ カナダ ←金融・輸送・旅行などで黒字になる要素が少ない

問6 ③ 【易】 ネット通販の普及が社会階層による所得格差解消につながらない

- ① 途上国では電波塔を建てれば使える携帯電話が固定電話より普及している
- ② 穀物メジャーは種子開発、生産、流通などあらゆる分野に進出している
- ④ 通信速度が速くなることで遠隔地を結んだ会議などが可能になった

問7 ②

- F● UAE・サウジ←主に石油の貿易。日本の輸入額に占める割合が高いが、輸出額は大きくない
- H□ 英・仏←欧州ということで、アジアや北米と比べ貿易額は小さくなる
- G▲ 韓国・タイ←部品などの水平貿易が盛んになっている

問8 ⑥ 【やや難】 アメリカと日本の違いがわかりにくい

- キ ドイツ←首都間の距離があまりなく、首都が近い。EUは域内の移動が多い
- ク アメリカ←2か国が特に渡航者が多い。NAFTAのカナダ・メキシコへの渡航者が多いと考えられる
- カ 日本←飛び抜けて渡航者が多い国がない。東アジア・東南アジア・アメリカなど渡航先の距離も分散している

■ AB問題で地球的課題と世界の結びつきが出題された。地球的課題は比較的取り組みやすい問題が多く、世界の結びつきは統計が多く、判別に時間がかかるものがあった。 などは判別するのが難しかったのではないか。

第5問 (配点18点：各3点) 【岩手県北上市の地域調査】 (地理B第6問と共通問題)

●出題形式

		07	08	09	10	11	12	13	14	16
	単答式	4	4	6	3	3	1			
	図中選択	1	4	1	2	3				
	地図中選択						3	1	1	1
	図(除グラフ)写真選択						1	2	1	5
	文選	8	11	12	8	9	9	10	13	10
	文章中の正誤判別	0	0	2	5	1	4	2		1
	正誤の組合せ						1		1	
	組合せ	5	6	5	6	6	6	7	7	8
	組合せ統計	9	4	6	5	7	4	6	5	4
	統計地図						1			1
	単答式統計	6	2	2	5	5	5	3	3	6
	統計地図									2
	雨温図・組合せ	1	0	0	0	0		1		
	単答式	1	0	0	1	1				
	ハイサー・組合せ	0	0	0	0	0				
	単答式	0	0	0	0	0				
	気候表・組合せ	0	0	0	0	0				
	単答式	0	0	0	0	0				
	写真問題	2	3	3	10	3	5	5	5	5
	地形図の枚数	3	4	2	3	7	4	5	2	2
	読図関連	3	3	3	3	2	1		1	2
	図表読み取り	1	3	3	4	2	1	1	1	
	計算	1	2	1	1	1			1	
	年代並びかえ									

- 出題のテーマは地誌がなくなったが、第3問の生活文化が東南アジアの地誌に近い内容であった。小問数は昨年と同じであった。
- 統計問題が例年より多く出題され、地理A選択者には難易度が高い問題が目立った。判断に迷う問題が地理Bと同じく数問見られた。

■地理A 平均点の推移

										16年	15年	14年	13年	12年
										52.14	51.4	51.8	50.1	47.4
11年	10年	09年	08年	07年	06年	05年	04年	03年	02年	01年	00年	99年	98年	97年
52.6	53.58	54.70	56.83	53.91	62.7	65.7	60.0	48.1	56.5	60.1	46.2	51.1	59.7	57.0